

## 令和4年度 第1回全国健康保険協会長野支部評議会

◇日 時：令和4年7月14日（木）10：00～

◇場 所：オンラインによる開催

◇出席議員：金澤評議員、杳掛評議員、戸井田評議員、増原評議員、  
宮崎評議員、矢澤評議員

◇議 事

- （1）令和3年度協会けんぽ決算と長野支部収支見込みについて
- （2）令和3年度長野支部事業結果報告について
- （3）令和4年度長野支部KPIについて
- （4）インセンティブ制度の見直しに関する検討結果について
- （5）その他

### 1. 開会

### 2. 支部長挨拶

○清水支部長

皆さん、おはようございます。改めまして本日はお忙しい中、評議会にご参加くださいます。誠にありがとうございます。

数日前に参議院選挙が終わりました。与党の大勝という結果でした。私どもに関係する部分で話をさせていただくと、選挙後のメディアの論調にもありましたが、我が国において大きな課題とされている社会保障のあり方について与野党とともに、給付の充実の訴えはあるものの制度の持続性

を維持するための負担の改革に踏み込んだ議論はほとんどなかったと思います。

年金・医療・介護を担う社会保障費用は現在、年間130兆円を超える状況で、毎年3兆円ずつ増えています。医療保険の分野で2025年問題と言われてもいるように、3年後には140兆、2040年にはさらに50兆円増えて190兆円になる試算が出ております。一方で、制度を費用面で支える現役世代人口が2025年から2040年にかけて1,000万人以上減ることはほぼ間違いのないと思います。今申し上げました二つの要件を考えますと、現在ある社会保障制度の仕組みに限界が来ていると言っても過言ではないかと思えます。この不安をできるだけ解消し、事実を広く知らしめるべく、政治には、今後の道筋について国民にしっかり説明し、理解を得て、手を打っていただく必要があると思っているところであります。

私ども協会けんぽは、医療保険制度を運営する事業主体の一つとして、制度の永続性を支えるべく、医療費の適正化や加入者の皆さんの健康度の向上に引き続き全力で取り組んでまいりたいと考えております。現場にあるものとして、政府への政策提言を行う役割も果たしていかなければならないと改めて考えたところであります。評議員の皆さんには、今後もこうした状況を私どもからお伝えしたうえでご意見を伺ってまいりたいと今回の選挙を通じて思った次第です。

さて、本日の主な議題ですが、令和3年度の協会全体と支部の決算状況、令和3年度の当支部の事業報告について申し上げます。少し説明が長くなるかと思いますが、ご容赦いただきたいと思います。それでは本日もどうぞよろしく願いいたします。

### 3. 議事

(1) 令和3年度協会けんぽ決算と長野支部収支見込みについて

【資料1】により千葉企画総務部長から説明

○増原議長

ただ今の事務局の説明に関しまして何か質問はございますか。

1点だけ確認ですが、要するに令和3年度の長野支部収支差がプラスに転じたのは珍しいことで永続的なものではないという理解でよろしいですか。

○千葉部長

そのご理解で間違いありません。

○増原議長

支部収支差が保険料率換算で0.07%下がるとなると、標準報酬月額が30万の場合は年間でいくら下がるのですか。

○千葉部長

標準報酬月額30万で計算すると、0.07%は210円です。

○増原議長

月々に210円が被保険者と雇用主に対してお返しができる、ということでしょうか。

○千葉部長

はい。0.07%だけを計算するとそのようになります。

○増原議長

分かりました。年間で言うと210円×12か月。これにボーナスが仮に2か月分とすると、被保険者一人当たり月々210円とはいえ、それなりに大きな金額になります。被保険者と雇用主にそれだけの金額がお返しできるということを委員の皆さんは頭に留めていただけると良いかと思えます。

(2) 令和3年度長野支部事業結果報告について

【資料2】により古田業務部長および千葉企画総務部長から説明

○増原議長

1点だけ質問です。KPIはすべて重要になるのですが、あえて協会けんぽ長野支部として今年度重点的に取り組まなければならないことがあるのでしたら教えていただきたいです。

○千葉部長

全部大事になるのですが、インセンティブ等に絡んでくる項目は特に注力しなければならないと考えています。特に特定健診、特定保健指導、重症化予防です。中には目標を達成できている項目もありますが、「健診をやっていただく」「健診データをいただく」「保健指導を受け入れていた

だく」ことが新しいインセンティブ制度で重要になってまいります。このあたりは私どもの努力だけでなく加入者の方の行動変容も必要となってきますので、ぜひ皆さまのお力をお借りしたいと考えています。

○増原議長

目標というのは支部の実績とプラス何%と設定されているのですか。それとも全国平均を基にして決められるのですか。

○千葉部長

「何%以上」と本部から示された中で設定しています。項目によっては「前年度以上」となっています。特に健診の関係は高い目標が示されていますので、それに基づいて実施し、達成していきたいと考えています。

(3) 令和4年度長野支部KPIについて

【資料3】により千葉企画総務部長から説明

(意見等なし)

(4) インセンティブ制度の見直しに関する検討結果について

【資料4】により千葉企画総務部長から説明

○増原議長

現状で言うと、今までの努力だと今年も同じような順位になったら0.01%取られる側になるということです。

○千葉部長

来年の話ですと、さきほどの収支差で0.07%がマイナスに働きますのでインセンティブで0.01%引き上げの方向に働いたとしても、貯金があるので0.06%引き下がる方向になります。

○増原議長

再来年度が上がるかもしれないということですね。

○千葉部長

その可能性があります。長野支部においてこんな収支差は珍しいので。

○増原議長

来年度は0.06%引き下がるとすると、標準報酬月額30万円の場合だと月々180円。けれども、再来年度にもしかすると、0.1%上がるかもしれないという話です。0.1%上がると300円上がるというイメージを掴んでいただければと思っています。概算なので正確な数字ではないです。

この話を受けて何か質問などございますでしょうか。よろしいでしょうか。最後にまとめて全部の質問時間取りますので、もし何かございましたらご遠慮なくその時に加わっていただけたらと思います。

(5) その他

評議員の任期について田邊企画総務グループ長から説明

(意見等なし)

○増原議長

ありがとうございます。事務局からの議題は以上です。

全体を通して意見・質問はございますか。ある方は資料いくつの何ページという形でおっしゃっていただくと資料を出しますので、是非ともこの機会にお願いできればと思います。どんなことでも結構ですし、疑問点や実際いくらになるのかという論点でも構わないと思います。どうでしょうか。

時系列的にその結果がいつつながるのか、このお金がいつ返ってくるのかは年度がずれるので分かりにくいかと思いますが、今年度の結果は2年後に関わってくる結果になりますので、皆さまで取り組まないと取られっぱなしになってしまう。もちろん努力を一切せず取られっぱなしで良いという戦術もありますが、そうは言っても健康である事の価値は大きいかと思いますが、このような形でインセンティブ制度が進んでいくということをご理解いただくとともに、皆さまからも「こういうふうになっています」ということを周知いただけるとやりやすいと思っています。

次の改訂が何年後かにあるかもしれないですが、都心部と地方では業界が違うはずですが、何を言いたいかという、長野県に何か得になることはないかと一所懸命考えているのですが、病気になりやすい業界と病気になりやすい業界があるのかもしれないことを考えると、これを調整して競わせてほしいということは主張しても良いかと思いますが、簡単に言うと都心部だと農林水産業ってなかなかないでしょう。こういうところですか。特定の業種が良くも悪くも影響することがあるかもしれないので、それを揃えるようにしないとフェアじゃないという意見を言えるのであれば言ってもいいかもしれないです。何年後になるか分かりませんが、フェアな競争ということの一つ言ってもいいかなと思いました。

○千葉部長

先生どうもありがとうございます。頂いたお話を貴重なご意見として参考にさせていただきたいと思います。今のお話について申し上げますと、保健指導や保険証の回収率などについて、それぞれ各業態で分析をしております、少しでも数値を上げるために特定の業態に対してのアプローチは本部でも支部でも行っているところです。その中で、例えば健診や保健指導の受け入れがどうしても悪いところも分析はできているのですが、決まった時間に集まるのが難しいとか、例えば保険証の回収で言えば派遣業の人たちが色々なところに分散して保険証の回収が遅くなるとか、そういう色々なことは事象として内容は分析ができているのですが、それを突破して行くのは難しいので、うまく色々な業態を巻き込んでやれることはないかということは常に行っております。

○増原議長

ありがとうございます。フェアな競争と土台がなければ、競い合った時の結果に対しても納得感が得られませんので引き続きよろしく申し上げます。最後に何かございますか。大丈夫でしょうか。もしあったらぜひとも。よろしいでしょうか。それではここで、質問を閉じます。

では、今回の議事録の確認者を決めさせていただきます。学識経験者を代表として私が、事業主を代表しまして宮崎評議員、被保険者を代表しまして金澤評議員に申し上げます。後日、事務局より議事録が送られますので、ご確認をお願いいたします。以上で議事を終了します。ありがとうございました。

○事務局

増原議長ありがとうございました。以上で評議会を終了します。

先ほども少し任期のことを話しましたが、次回の評議会の日程についてお知らせします。次回の評議会は10月を予定しております。詳細は評議員の皆さまのご都合をお聞きしながら後日ご案内いたしますので、よろしくお願いいたします。

以上をもちまして令和4年度第1回評議会を終了いたします。ありがとうございました。